広報 あさぎり

3月15日
No.327

発行所　麻生町1561－9　麻生町役場
発行人　電話②0811(代)　小沼幸蔵
印刷所　麻生印刷

〈人口〉

男	8,920人
女	9,151人
計	18,071人
世帯数	4,134戸

3月のメモ

7日　霞ケ浦・北浦清掃大作戦
10日　民生委員協議会
11日～20日　定例町議会
21日　春分の日
23日　農業委員会総会
30日　水田利用再編対策推進協議会

本町随一の景勝地

羽黒山公園が完成

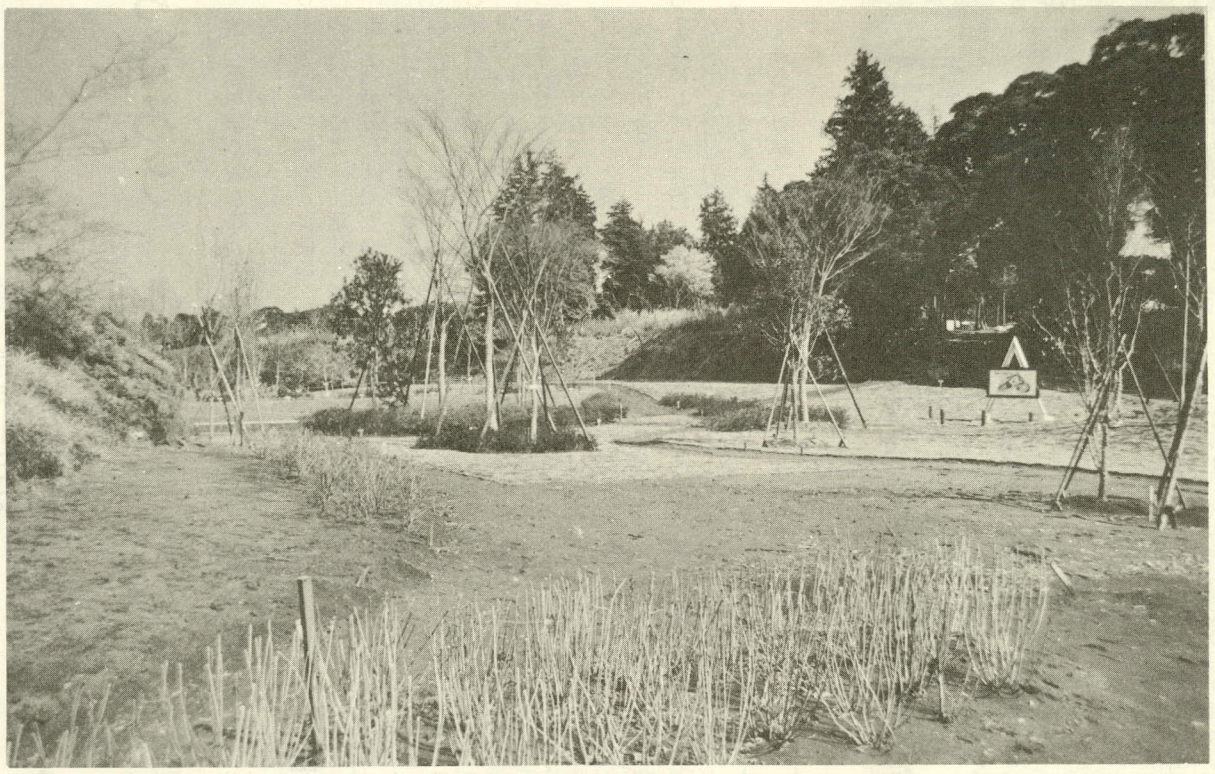
昭和五十二年度より五ケ年計画で整備の進められていました羽黒山公園が二月に完成しました。

総事業費は二億二千三百五万~~四~~二千円で、公園面積は四万七千九百三十五㎡あり、広場の整備、ツツジ、アジサイなどの植樹、鉄棒、ブランコ、スベリ台、シーソー等の遊戯施設、ベンチ、パーゴラ等の休養施設の設置、園路、案内板、駐車場、便所照明施設の整備などがなされました。

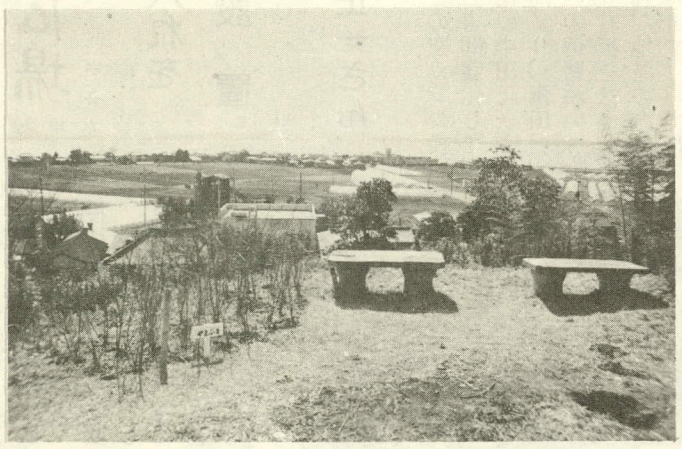
ここは、麻生三郎家幹が築場した羽黒城跡として知られており、戦前には、佐藤男爵の別荘がおかれ、のちにこの建物は女子美術大学の寮として使用されていました。

南方には、天王崎と霞ケ浦をへだてて浮島、ときには遠く富士山も眺められ、西には筑波の紫峰ときれいな夕日が見られ、公園としてめぐまれた条件がそなえられています。

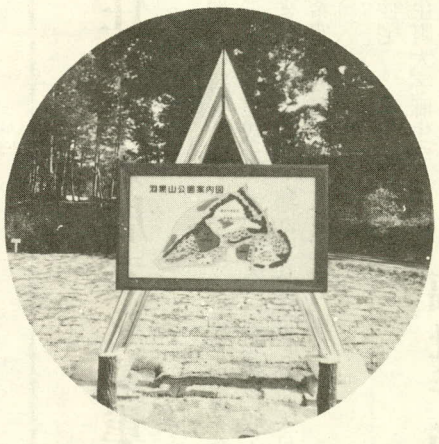
町では、この由緒ある羽黒山を求めて都市公園としたもので、羽黒城の遺構を破壊しないようにし、さらに常陸風土記、万葉以来の郷土史を追憶しうるよう考慮して整備されています。



公園内の植栽



公園より見た霞ケ浦



案内板

第2回臨時町議会

麻生町都市公園設置条例を議決

昭和五十七年第二回臨時町議会が二月二十六日午前十時から開かれ、麻生町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例など五議案の審議が行なわれ、原案どおり可決されました。

〔議案第6号〕
麻生町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

これは、町議会議員の報酬について条例の一部を改めたものです。

〔議案第7号〕
麻生町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

特別職の職員で、常勤のものの給与について条例の一部を改めたものです。

〔議案第8号〕
教育長の給与、勤務時間及びその他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例

教育長の給与について条例の一部を改めたものです。

〔議案第9号〕
麻生町都市公園設置条例

羽黒山公園が完成したため公園の管理について必要な事項を定めたもので、昭和五十七年四月一日から施行になります。

〔議案第10号〕
町有財産の取得について

大和第三小学校建設用地及び交換用地として、宇崎・白浜地内の土地二万六百六十六㎡を取得するため議会の議決を求めたものです。（学校用地一六、五五六㎡、代替用地四、一一〇㎡）

春の全国交通安全運動

4月6日～15日

四月六日から十五日までの十日間春の全国交通安全運動が行なわれます。

交通事故による死者数は、昭和四十六年以降年々減り、おおむねピーク時の半分になりましたが、交通事故の発生件数と負傷者数は、近年増える傾向にあり、死傷者数は年間六十万人を超えています。

今回の運動は、さらに一層交通事故の防止を図るため、すべての人が正しい交通ルールとマナーの実践を習慣づけていただくことを目標に、

▽歩行者、特にこどもの交通事故防止
▽自転車および原動機付自転車の安全利用の促進
▽安全運転の確保、特に無謀運転の防止

の三項目を重点に、幅広い国民運動として展開することとしています。

こどもを交通事故から守ろう

四月は新入学の季節です。まだ交通ルールに慣れていない一年生や幼稚園生が新しく通行者の仲間になります。

親にとって心配なのが交通事故。茨城県では、昭和五十六年中に二十一名の園児・小学生が死亡、百三十九名がケガをしており、特に、園児・小学一、二年生の犠牲が目立っています。

〔事故の原因〕
こどもの交通事故をみると
○急な飛び出し
○車の直前・直後の横断
○信号無視
○路上での遊び
などが主な原因になっています。

〔おとうさん、おかあさんへ〕
新入学（園）のお子さんを交通事故から守るために、次のようなことを心がけてください。

○実際の通学時間に合わせ、通学路を何回か歩き、信号の見方や正しい横断の仕方などを教えましょう。また同じ道でも、時間、曜日によって交通状況が変化することも教えましょう。
○登校に際しては、夜寝る前に翌日の持物を準備させると同時に、忘れ物がないかどうか十分点検させ、余裕をもって登校させるようにしましょう。
○こどもの遊び場については、おかあさんがよく知っておくこと、遊び場所、帰宅時間などを約束させ、しっかり守らせることも大切です。

少年を家出や非行から守ろう

三月から四月にかけては、進学や就職のシーズンに当り少年たちにとっても心の動揺が激しい時期です。そのためわずかの失敗がもとで家出をしたり、非行に走ったりしがちです。

少年を家出や非行から守るために、家庭では平素から次のようなことに十分気を配っておくことが大切です。

○子供に悩みごとがあるようなときは、いつでも気軽に話し合えるような明るい家庭づくりに努める。

○子供が進学や就職試験に失敗しても、暖かい思いやりのある態度で接し、劣等感挫折感を早く取り除いてやる。

○子供の持ち物や言葉使い、態度などによく注意し、不審な点があれば、すぐに適切な指導や助言をするよう心がける。

○子供の外出先を常に確かめ帰宅時間を聞いて、それらを守らせるようにする。また、遊び友達をよく知っておき、ときどき親同士で連絡をとり合う。

○不幸にして、非行に走ったり家出したと思われるときは、そのままにしないで、できるだけ早く警察へ相談する。

お孫さまを運営する子供達

毎月10日は非行防止の日

家庭での困りごと、ヤングの悩みごと、非行の相談はテレホン相談コーナーへ
○二九二 (21) 九九九九

電話移転手続はお早めに

毎年三月、四月は転勤・就職・入学あるいは結婚など人の動きがとても多くなります。

この時期は、電話の移転工事もたいへん混みあいますので、転居などが決まりましたらお早め（十日～二週間位前）に申し込んで下さい。

―問い合せ先―
潮来電報電話局営業課
○二九九六 (2) 二九九一

ふるさとめぐり ㊼

お孫さま

毎年二月八日には、篭田地区で十三才以下の男の子供達により運営されるお孫さまの行事が行われます。

この行事は、小牧松男氏の先祖が山形県の湯殿山神社をお迎えして初められたと伝えられています。

ちょうちんを先頭に、へいそく、バレン、のぼりの順に並んで、大鼓の音に合せてはやしながら湯殿山神社（前月号の写真のいちばん右の小さい石の神社）にお参りをする。その後、夕方にかけて地域内の家々を一順する無病息災を祈る行事です。

この行事も、悩みは子供達が年々少なくなることで、地域内でもこの伝統ある行事を昔ながらの姿で保存しようという話が出ております。

麻の広場

空カン入れを設置

富田の中田正一さん

ジュースなどの空カンの投捨については公害問題化していますが、富田の中田正一さんは、五年位前より、富田、粗毛、麻生地区の道路添いへ空カン入れと立看板を二十ケ所ほど設置され、地域の方々より喜ばれています。いずれも自作のもので、たまった空カンは、中田さんが回収して回ったり、その近くの方にお願いしたりして処理されております。

投捨れば公害となる空カンも、回収すれば資源として活用できますので、不法に投捨てたりしないで、ゴミ箱へ捨てるか、持帰るようにしてください。

小高小麻生中

よい歯の学校で表彰

二月四日に水戸市の県民文化センターにおいて開催された茨城県学校保健安全大会でよい歯の学校の表彰があり、麻生町では、小高小学校が県教育長賞、麻生中学校が県歯科医師会長賞を受賞しました。

なお、全日本よい歯の学校として、小高小学校、太田小学校、大和第一小学校、麻生中学校が、日本学校歯科医師会長より表彰されました。

町営住宅の入居者を募集

麻生字新池地内に新築中の町営住宅が、三月中に完成する運びとなりましたので、次のとおり入居希望者の募集をいたします。

種別　第二種住宅
建築場所　麻生町大字麻生字新池三四九一番地
戸数　八戸
構造　軽量鉄骨造平屋　二戸連続住宅四棟　一戸当り床面積六〇・五三㎡
家賃　一ケ月二万三千円前後
入居資格　麻生町に住所を有する者又は勤務場所を有する者のうち、入居資格収入基準額により算定した収入月額が五万五千円以下の者。
申込方法　役場建設課備付の麻生町営住宅入居申込書により、必要書類添付のうえ申し込んで下さい。
申込受付期間　昭和五十七年四月一日から四月十日まで

その他くわしいことは役場建設課におたずねください。

完成間近い町営住宅

福祉手当等受給者の一年定期預金

年利は六・二五％

金融機関の金利の最高限度に関する件の一部が改正され定期預金、定期貯金、定期郵便貯金の金利が引き下げられましたが、福祉手当、児童扶養手当、特別児童扶養手当、障害福祉年金、老令福祉年金の受給者の金利は次のとおり特別措置があります。

取扱期間　昭和五十七年一月十八日から昭和五十七年十二月三十一日まで
預入限度　百万円以内
対象預金　預入期間一年の定期預金、定期貯金、定期郵便貯金、
利率　年利六・二五％

なお、預金をするときは、金融機関に、手当証書又は年金証書を呈示することになっています。

その他くわしいことは役場厚生課へおたずねください。

表示登記の無料相談

四月一日表示登記の日を記念し、茨城県土地家屋調査士会では、県下の各土地家屋調査士会の事務所で無料相談を実施しますのでご利用下さい。

無料相談実施期間　四月一日から四月十日
相談所　各土地家屋調査士事務所
相談事項　土地の分筆や地目変更、建物の新築や増築の登記、所有者の表示、変更、更正、その他表示登記全般について相談を受けます。

戸籍の窓口

おめでとうございます

出生者　世帯主　住所
志村　直喜　昭雄　富田
篠崎　智美　薫　麻生
福田　裕之　三佐夫　〃
土子　卓也　藤夫　矢幡
坂本　健　良雄　石神
宮内由香利　清　岡
石神　絵里　謙治　青沼
久保田隆之　喜之助　四鹿
真家　佳実　秀雄　〃
鬼沢　知己　哲雄　新宮
柏葉　文子　富男　篭田
岡崎　紘一　弘　於下
畑木　久美　徳雄　小高
板橋　美和　幸昌　井貝

おくやみ申し上げます

死亡者　年令　世帯主　住所
吉崎　竹男73　佐吉　富田
谷田　アイ78　勝義　〃
福井　正71　恵美子　麻生
箕輪　なか95　仁助　〃
市塚弥雄吉80　弥　岡
箕輪徳二郎69　耕二　〃
久保田　悦86　稔　四鹿
川尻　治雄53　てい　於下
小山田スエ76　敏雄　〃
宮本　善正48　忠　行方
宮崎　きく73　秋継　南

俳句

末黒芒雉の巣見しはこのあたり　鴨下　政隆
春雷や鷗片寄る湖の尻　小沢　葭穂
末黒野や雨を呼び込む南風　藤野ます子

短歌

この春に賭けたる花咲かせむと
乏しき土の力培ふ　箕輪　登美

北風にめげぬ垣根の寒椿
紅あざやかに人しれず咲く　兼平　愛子

冷えしるき夜のしじまを救急車が
弱きこの身をかきたてていく　小沼　芳江

俚謡

捨てたくず菜が一足先に
春を呼んでる土手の隅　藤崎　まち

握る手と手に長生き誓う
話つきない土手の春　宮崎　とよ

物を捨てずに活して見せりゃ
孫もうなずく老の知恵　羽生　藤平